

緊急出版

「東北」共同体 からの再生

【東日本大震災と日本の未来】

川勝平太 (静岡県知事)

増田寛也 (前岩手県知事)

東郷和彦 (元オランダ大使)

3・11大震災から一ヶ月後、
いち早く浜岡原発再開に異を唱えた静岡県知事、
森と水の国・東北の復興像を描く前岩手県知事らが、
真に東北の地域性に根差した復興と、日本の未来を激論。



「東北」から世界を変える

2011年7月刊
四六上製 184頁
定価=本体1,800円+税
ISBN978-4-89434-814-1

藤原書店

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町523
電話 03-5272-0301 / FAX 03-5272-0450
E-mail info@fujiwara-shoten.co.jp

〈鼎談〉「東北」共同体からの再生

■問題提起

復興の基盤としての地域共同体 …………… 増田寛也
 東北から「新しい文明」の創造を …………… 東郷和彦
 日本の復興のモデルとしての「東北」 …… 川勝平太

■討論

震災百日——鼎談を終えて

文明の創造は時間との闘い …………… 東郷和彦
 国家も地方も問われている …………… 川勝平太
 東北の復興は東北人の手で …………… 増田寛也

川勝平太 (かわかつ・へいた)

1948年京都生まれ。静岡県知事。専攻・比較経済史。
 早稲田大学大学院で日本経済史、オックスフォード大学大学院で英国経済史を修学。D.Phil. (オックスフォード大学)。早稲田大学教授、国際日本文化研究センター教授、静岡文化芸術大学学長などを歴任し、2009年7月より現職。著書に『日本文明と近代西洋——「鎖国」再考』(NHKブックス)『富国徳論』(中公文庫)『文明の海洋史観』(中央公論新社)『海から見た歴史』『アジア太平洋経済圏史 1500-2000』(編著、藤原書店)など多数。

東郷和彦 (とうごう・かずひこ)

1945年長野県生まれ。京都産業大学世界問題研究所長。東京大学教養学科卒業。2009年ライデン大学で博士号。1968年外務省入省。三回のモスクワ大使館勤務、条約局長、欧亜局長、オランダ大使などをへて、2002年退官。以後、ライデン大学、プリンストン大学、ソウル国立大学などで教鞭をとった後、2010年4月より現職。2011年4月より静岡県対外関係補佐官。著書に『北方領土交渉秘録——失われた五度の機会』(新潮文庫)『歴史と外交——靖国・アジア・東京裁判』(講談社現代新書)『戦後日本が失ったもの——風景・人間・国家』(角川 one テーマ21) *Japan's Foreign Policy 1945-2009: The Quest for a Proactive Policy* (Brill) など。

増田寛也 (ますだ・ひろや)

1951年東京生まれ。株式会社野村総合研究所顧問、東京大学公共政策大学院客員教授。元総務大臣、前岩手県知事。東京大学法学部卒業。77年建設省入省。千葉県警、茨城県の課長を歴任し、94年建設省退官。95年より07年まで岩手県知事(3期)。07年より08年まで総務大臣。09年4月より現職。著書に『地域主権の近未来図』(朝日新書)『「自治」をつくる』(共著、藤原書店)など。

■もし、浜岡原発が福島第一原発のような放射能漏れの事故を起こしたならば、二〇キロ圏内は警戒区域になる。二〇キロ圏内には、東名高速道路、新幹線が走っており、空港があり、また御前崎港がある。自動車・鉄道車両・飛行機・船舶も不通になり、日本は東西に二分され、静岡県は陸の孤島になる。

■太古より受け継いだ東北の森の中に、その海と田畑の中に、自然と調和した豊かな生活と風景をつくりあげる。しかも、私たちが失ってしまった感性を、世界に開いて再び求めることによって。私たちは、そういう文明の創造をなしうるか否かの岐路にいる。そのための、時間は残ってはいない。

■今後、復興のデザインが各県それぞれから出てくるだろう。各県が主体的に描くということが重要なことであるが、東北全体としての統一性に留意した骨太の東北像を示すことが重要である。これは、日本の国家像をどう構想するかの議論ともつながる。

増田寛也

東郷和彦

川勝平太

ご注文はFAXでお願いいたします FAX 03-5272-0450

藤原書店

東京都新宿区早稲田鶴巻町523 tel03-5272-0301 fax03-5272-0450 info@fujiwara-shoten.co.jp

番線印

「東北」共同体からの再生 ()冊

ご担当者

■注文扱返条付

返品了解者：藤原書店・溝尻

四六上製 184頁 ISBN978-4-89434-814-1 本体1800円